

# 近畿、大阪の躍進なしに全国の勝利なし

## 大阪オンライン演説会での小池書記局長のメッセージ（大要）

党大阪府委員会が22日に開いたオンライン演説会では小池書記局長がたつみコータロー前参院議員を聞き手に、総選挙の意義、何を訴えるか、「党名を変えたら」などを寄せられた質問に答えて縦横に語りました。近畿比例候補のこくた恵二、宮本たけし、清水ただし、西田さえ子の各比例候補が決意を語り（こくた氏はビデオメッセージ）、小選挙区からたたかいと決意がのべられました。5000人以上が視聴し、当日2人が入党決意しました。小池書記局長の最後のメッセージを紹介します（文責・近畿ブロック事務所）。



総選挙では大阪の隅々に「比例は共産党」と、どうか広げていただきたい。近畿ブロックは定数28、全国最大のブロックです。ここで躍進することなしに共産党の躍進はありません。近畿の中心は何といっても大阪ですから、大阪での躍進なしに全国の躍進はないということだと思えます。

近畿は大激戦です。しかし定数28に、いま共産党は2議席というのは余りにも少なすぎるんじゃないでしょうか。大阪で比例80万票というのは大きいように見えるけれども、1500の共産党の支部があります。1支部平均で500票担えば実現できます。前回選挙では1支部あと4票増やせば3議席になった、77票伸ばせば4議席になりました。近畿と大阪のすべての支部が頑張っていたければ必ず躍進できる、ということを訴えたいと思えます。

素晴らしい候補者ばかりじゃないですか。清水ただしさん。共産党の営業をやらせれば全国一です。コロナの下で近畿の民商を訪問して声を聴いて「持続化給付金をもっと受けやすく」と質問して実現した、近畿の命綱として頑張ってきました。

宮本たけしさん。「森友」と言えば、たけしとコータロー。国会で最初に取り上げた。疑惑追及のエースです。そして西田さえ子さん。生野民商に勤務し、2019年の大阪市議選に立候補。大阪府委員会のくらし営業対策委員長。こくた恵二さん、こむら潤さん、たけやま彩子さんとあわせて近畿で4議席を必ず実現させてください。

共産党は侵略戦争、植民地支配、戦争とファシズムに命を懸けて反対してきた政党です。全体主義とは対極にある政党です。そして異常なアメリカ言いなり、財界中心という政治をただず綱領を持ってい



ます。企業団体献金も、政党助成金も受け取らず、みんなの声をまっすぐ政治に届ける、市民との約束を裏切らない、99年間ブレない。この党が伸びることこそ、日本の政治を変える、市民と野党の共闘を前に進める確かな力になります。どうか大阪の総力を、浪速のど根性を発揮し「比例は共産党」と大きく広げていただきたいと思えます。

今日、沢山の方にご覧いただきました。「しんぶん赤旗」をお読みでないという方もいらっしゃるのではないでしょうか。今日の私の話の続きは「しんぶん赤旗」でお読みください。共産党に入っていない方も今日のみんなの話、私の話を聞いて、「こういう風になればいいな」と思っていた方は、それを一緒に実現するために共産党にお入りいただきたいと思えます。共産党を強く大きくしてこの国の政治を変えて、住んでいてよかったなと一日に一回や二回は実感できるような政治をつくろうじゃありませんか、そのことに力を合わせようじゃありませんか。

21近畿ブロック事務所ニュース

Tel06(6975)9111 Fax06(6975)9115

【府県・地区・地方議員御中・部内資料】

No. 42(2021.8.23)